

飼料イネ専用品種の北部九州平坦部における特性
 坂井 真・岡本正弘・田村克徳・梶 亮太・溝渕律子¹⁾
 九州沖縄農研・¹⁾農業生物資源研・

【目的】

畜産が盛んな九州ではホールクロップサイレージ（稲発酵粗飼料）用水稲の栽培が早くから普及し、九州中南部では専用品種の「モーれつ」の導入が進んでいる。しかし、北部九州地域では専用品種の導入はやや遅れている。また、これまで独法育成地で熟期の異なる飼料イネ品種8品種が育成されているが、九州地域における品種特性や、長所・短所などが明らかになっておらず、現場での品種特性に基づいた栽培指導の上で問題となっていた。そこで、これまで育成された日本晴より晩生の専用品種について、早植えおよび晩植条件で比較試験を行い、その適性を検討した。

【材料および方法】

第1表に示す飼料イネ専用品種7品種、主食用品種2品種を供試し、2001年から2004年の4カ年、早植（5.19～5.23 移植）、普通期（6.14～6.23 移植）の2作期で多肥生産力検定を行い、子実およびホールクロップの乾物収量を計測するとともに、出穂期、生育特性、耐倒伏性、脱粒性等の形質を評価した。

【結果及び考察】

出穂期は、早植えでは「ホシアオバ」が「ヒノヒカリ」より早い早生、「クサホナミ」「モーれつ」が「ヒノヒカリ」並の中生、「西海飼 253 号」が極晩生であり、その他は「ニシホマレ」並の中晩生である。普通期では「ホシアオバ」「モーれつ」がそれぞれ中生、中晩生となり、他の品種より出穂変動が大きい。「西海飼 253 号」は収量性等の特性は優れるが、その熟期から水管理や食用品種との収穫競合には注意が必要である。

倒伏程度は「モーれつ」と「西海飼 253 号」は主食用品種より軽微であった。ただし、「モーれつ」は台風の影響で全面倒伏した年もあった。「ホシアオバ」の倒伏程度は主食用品種並であり、「クサホナミ」「ニシアオバ」「クサノホシ」は主食用品種よりやや倒伏程度が大きく、肥沃地での耐倒伏性に問題がある。「スプライス」はいずれの作期でも主食用品種より耐倒伏性が著しく劣り、飼料イネとして不適である（表1）。

早植えでの地上部乾物重は「西海飼 253 号」が

2t/10a を越す多収であり、ついで「ニシアオバ」「クサノホシ」「モーれつ」が 1.8t/10a を超す多収を示す。普通期栽培では「西海飼 253 号」が最多収であり、次いで「ホシアオバ」がやや多収である。その他の品種は主食用品種並かそれ以下の収量であり、専用品種としてのメリットは小さい。子実収量（籾乾物重）は「ホシアオバ」「クサホナミ」が特に多収であり、「モーれつ」は脱粒による子実損失が大きく特に収量性が劣る（図1）。

脱粒性は「モーれつ」が“極易”で、年により台風等により著しく脱粒することもある。その他の品種は“やや難”～“難”である。

今回明らかになった品種特性は、飼料イネの普及現場で圃場条件や作期・作型に合わせて品種選択を行う一助になると考えられる。

表1 飼料イネ品種の生育特性

品種名	出穂期(月・日)			稈長(cm)			倒伏程度(0無～5甚)		
	早植多肥	早植極多肥	普通期多肥	早植多肥	早植極多肥	普通期多肥	早植多肥	早植極多肥	普通期多肥
ホシアオバ	8.04	8.06	8.24	97	103	98	1.3	2.2	0.8
クサホナミ	8.15	8.16	8.28	90	95	84	2.1	2.8	1.7
モーれつ	8.15	—	9.03	123	—	109	0.5	—	0.3
スプライス	8.17	—	9.01	121	—	111	4.1	—	3.7
ニシアオバ	8.17	8.17	8.31	104	103	93	2.4	2.8	1.6
クサノホシ	8.20	8.21	9.01	99	106	91	2.8	3.6	2.0
西海飼253号	8.29	8.29	9.11	104	107	99	0.8	1.6	0.5
ヒノヒカリ(食用)	8.12	8.14	8.27	90	95	84	1.9	2.8	2.1
ニシホマレ(食用)	8.18	8.18	9.01	90	93	82	1.4	1.8	0.6

品種名	熟期		全重		子実重	耐倒伏性	脱粒性
	早植	普通植	早植	普通植			
ホシアオバ	早	中	○	○	◎	○	難
クサホナミ	中	中晩	△	×	◎	△	やや難
スプライス	中晩	中晩	△	×	△×	×	難
モーれつ	中	中晩	○	△	×	◎	極易
ニシアオバ	中晩	中晩	○	△	△	△×	難
クサノホシ	中晩	中晩	○	△×	○	△×	難
西海飼253号	極晩	極晩	◎	◎	○	◎	難
ヒノヒカリ	中	中	△	△	△	△	難
ニシホマレ	中晩	中晩	△×	△×	△	○	やや易

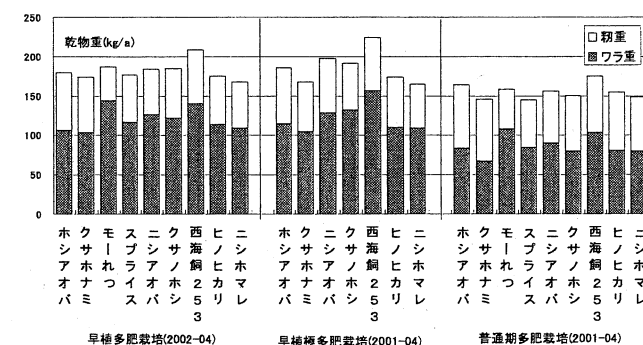


図1 飼料イネ品種のホールクロップ収量

注) 施肥量：早植多肥 N1.2kg/a、早植極多肥 N1.8-2.0kg/a、普通期多肥 N1.2-1.6kg/a。 図1：早植が黄熟期収穫普通期が成熟期収穫であり、